令和７年度

大河原町決算報告



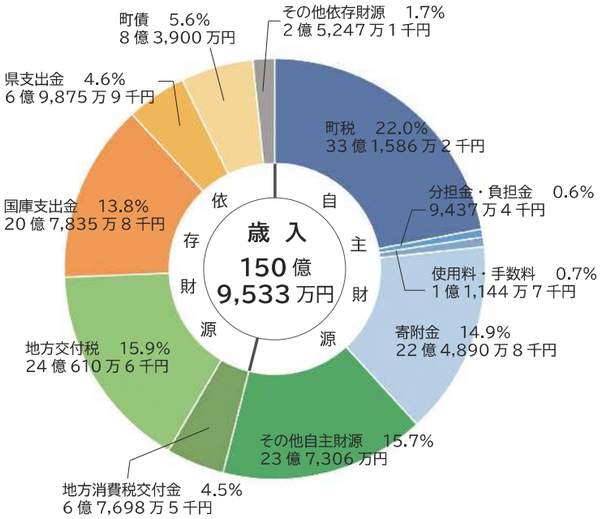
令和７年度の一般会計決算額は、歳入（町に入ったお金）が 150 億 9,533 万、歳出（町が使ったお金）が 144 億 640 万８千円で、歳入と歳出の差引きから翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の 2,676 万４千円を除いた実質収支額は**６億 6,215 万８千円の黒字**となりました。

一般会計

歳入

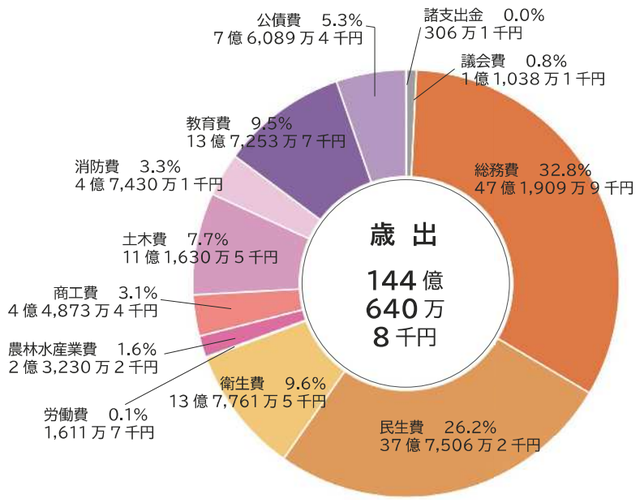
一般会計歳入決算額は、前年度と比較すると 22 億 8,764 万１千円（17.9%）の増加となりました。町税の増加や基金（貯金）の積替えによる繰入金、建設事業の増加による町債（町の借金）の増加が、歳入総額が増加した主な要因となっています。

		説明
自主財源	町税	町民税、固定資産税など
	分担金・負担金	保育料やトンネル維持管理のための負担金など
	使用料・手数料	公民館や体育館等の町の施設の使用料
	寄附金	ふるさと寄附金、企業版ふるさと納税など
	その他自主財源	上記以外の財産収入や繰入金、繰越金など
依存財源	地方消費税交付金	消費税のうち町に交付されるお金
	地方交付税	国税から一定割合で交付されるお金
	国庫支出金	特定の事業のために国から交付されるお金
	県支出金	特定の事業のために県から交付されるお金
	町債	国や金融機関から借り入れる町の借金
	その他依存財源	上記以外の地方譲与税や交付金など



歳出

一般会計歳出決算額は、前年度と比較すると 22 億 8,123 万円（18.8%）の増加となりました。商品券事業をはじめとした各種物価高騰対策事業、大河原南小学校や金ケ瀬公民館の改修、同報系防災行政無線の整備事業をはじめとした建設事業の増加等が、歳出総額が増加した主な要因となっています。



	令和７年度の主な歳出
議会費	議員報酬など
総務費	スポーツイベントや体育施設の維持管理経費、基金の積立など
民生費	児童手当や障害福祉サービス費、物価高子育て応援手当など
衛生費	みやぎ県南中核病院への負担金や予防接種の経費など
労働費	シルバー人材センターに対する補助金など
農林水産業費	町内樋門改修工事や金ケ瀬ほ場整備事業経費など
商工費	物価高騰対策で実施した商品券支給事業の経費など
土木費	賑わい交流拠点施設整備盛土造成等工事や道路側溝改良工事など
消防費	同報系防災行政無線整備工事など
教育費	大河原南小学校１号校舎や金ケ瀬公民館の大規模改修工事など
公債費	国や金融機関から借り入れた町債の返済
諸支出金	災害援護資金貸付金償還金など

特別会計・企業会計決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計・企業会計の決算概要は次のとおりです。

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額
後期高齢者医療特別会計		3億7,941万2千円	3億7,700万2千円	241万円
国民健康保険特別会計		21億5,973万7千円	21億1,726万4千円	4,247万3千円
介護保険特別会計		16億5,010万6千円	16億528万9千円	4,481万7千円
仙南夜間初期急患センター事業特別会計		4,871万6千円	4,454万4千円	417万2千円
地方卸売市場事業特別会計		213万8千円	149万5千円	64万3千円
水道事業企業会計	収益的収支	6億5,055万6千円	5億8,070万8千円	6,984万8千円
	資本的収支	5,000万円	3億2,447万4千円	△2億7,447万4千円
公共下水道事業企業会計	収益的収支	7億7,734万円	6億2,896万8千円	1億4,837万2千円
	資本的収支	3億2,495万円	6億2,674万円	△3億179万円

特別会計…法律で義務付けられている事業や一般会計と区別して経理を行う必要がある事業について設置する会計
企業会計…事業収益を持ち、複式簿記で経営する会計

財政健全化判断比率・資金不足比率

令和７年度決算では、早期健全化基準及び財政再生基準を下回り、財政状況は健全といえる結果となりました。引き続き無駄のない財政運営に取り組んでいきます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく指標

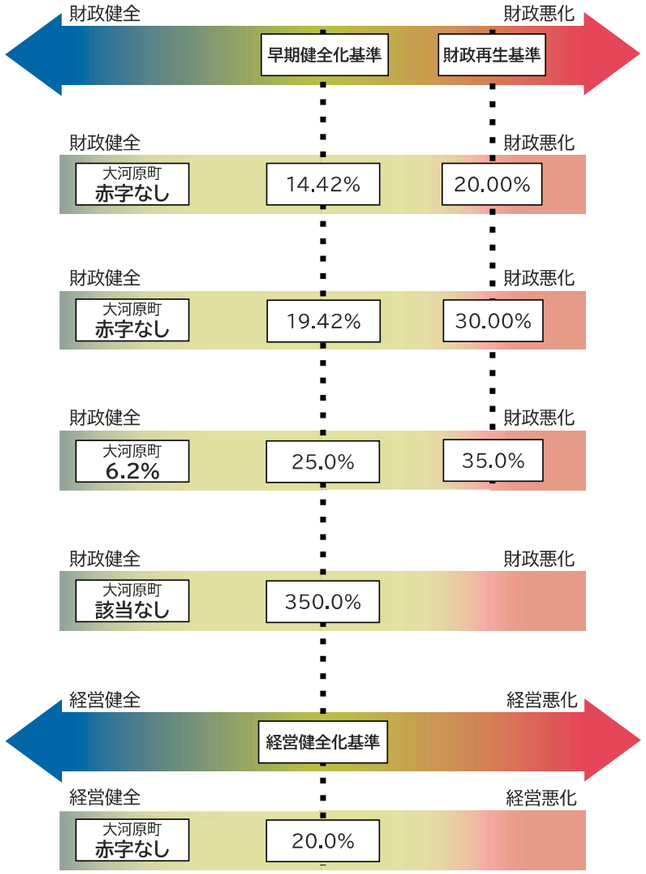
実質赤字比率
（一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政状況を示すもの）

連結実質赤字比率
（町の全会計の赤字の程度を指標化し、財政状況を示すもの）

実質公債費比率
（町の借入金返済などに充てた大きさを指標化し、財政負担の程度を示すもの）

将来負担比率
（将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、財政を圧迫する可能性を示すもの）

資金不足比率
【水道事業会計・公共下水道事業会計・地方卸売市場事業会計】
（企業会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足割合を示すもの）



問合先　政策企画課 財政係（2階②番窓口）☎0224-53-2112